

イスターカーテン SUMUZA 扉

取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

■工事店様へのお願い

同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。

———目次———

□施工上の注意事項	P 2
□必要工具類の確認	P 2
□基本納まり（片引き・引分け）	P 3
□梱包内容	P 4
□取り付け手順	P 4
1 障子の吊込み	P 5～10
■ 障子の構成	P 5～6
■ 上枠補助の取外し	P 7～8
■ 障子の吊込み	P 8～9
■ 上枠補助の取り付け	P 9
■ 障子の連結	P 10
2 ラッチの調整	P 11～13
■ ラッチの調整	P 11
■ ラッチの解除	P 11
■ 建付け調整	P 12
■ 指はさみ防止ストッパー用戸先補強板調整	P 13
□施工後の点検	P 14

□施工上の注意事項

- ① 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- ② ねじ止め箇所は、指示してあるねじをすべて確実に締めてください。
- ③ 指定の部品以外は使用しないでください。
- ④ 枠の内法寸法を十分確認してください。
- ⑤ アルミ部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
 - (1) 基礎用モルタルに海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食の原因になります。
また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
 - (2) アルミ部材の表面に付着したモルタルや汚れは、速やかに取除いてください。
 - (3) アルミ部材と、銅板や鉄などの異なる金属が接触しないようにしてください。
必要に応じて、ビニールテープ・塗装などにより絶縁処理をおこなってください。
- ⑥ 扉本体は重いので、二人以上で扱うなど、施工には十分ご注意ください。
- ⑦ 施工後、ねじ類にゆるみやガタツキがないか点検してください。
- ⑧ 商品の外観に有害なキズ、ヘコミ等がないか確認してください。
- ⑨ 開閉作動や施解錠が正常におこなえることを確認してください。

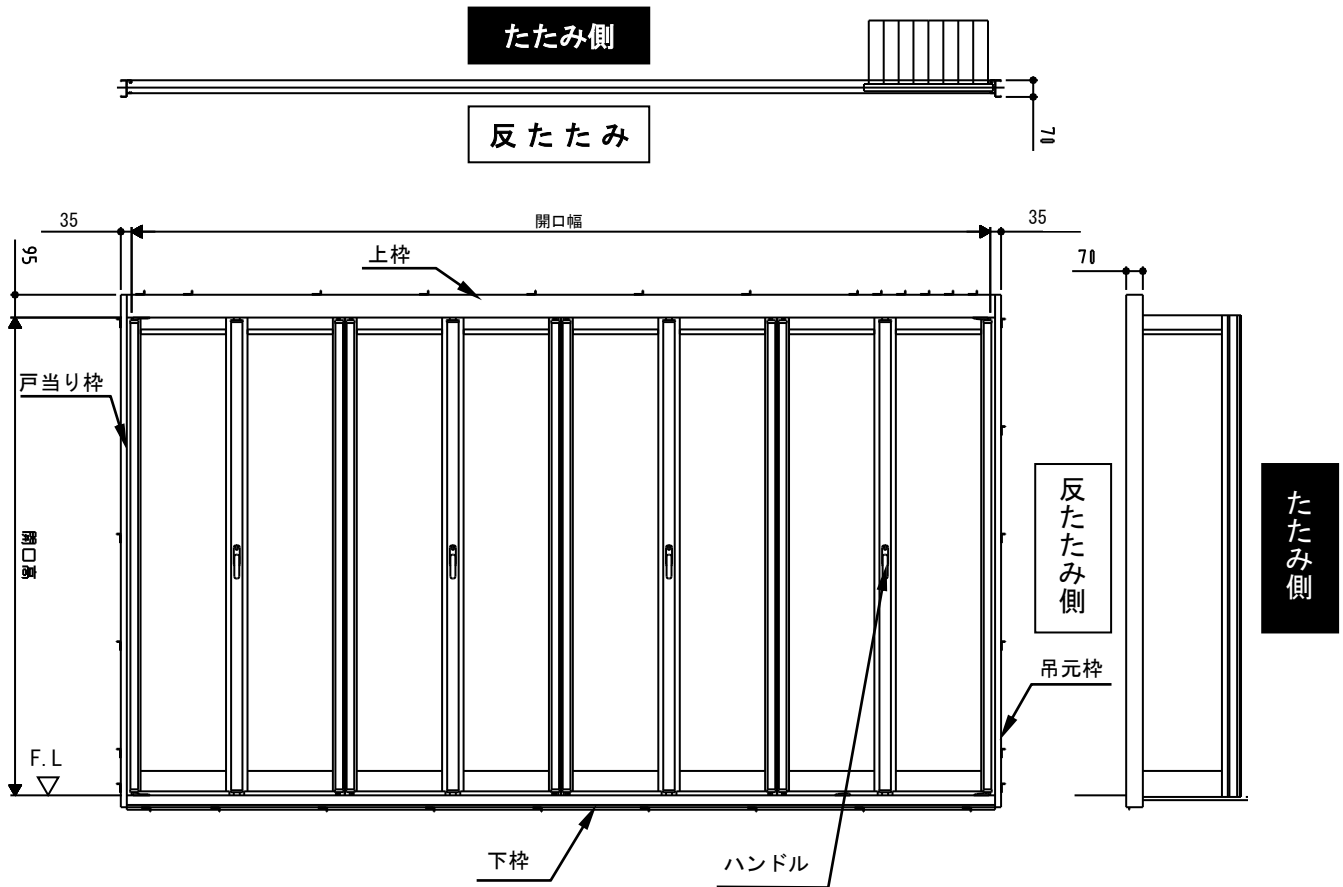
□必要工具類の確認

(+)手動ドライバー	スケール
カッター	水平器
電動インパクト	脚立
ニッパー	足場板
ひも	

□基本納まり

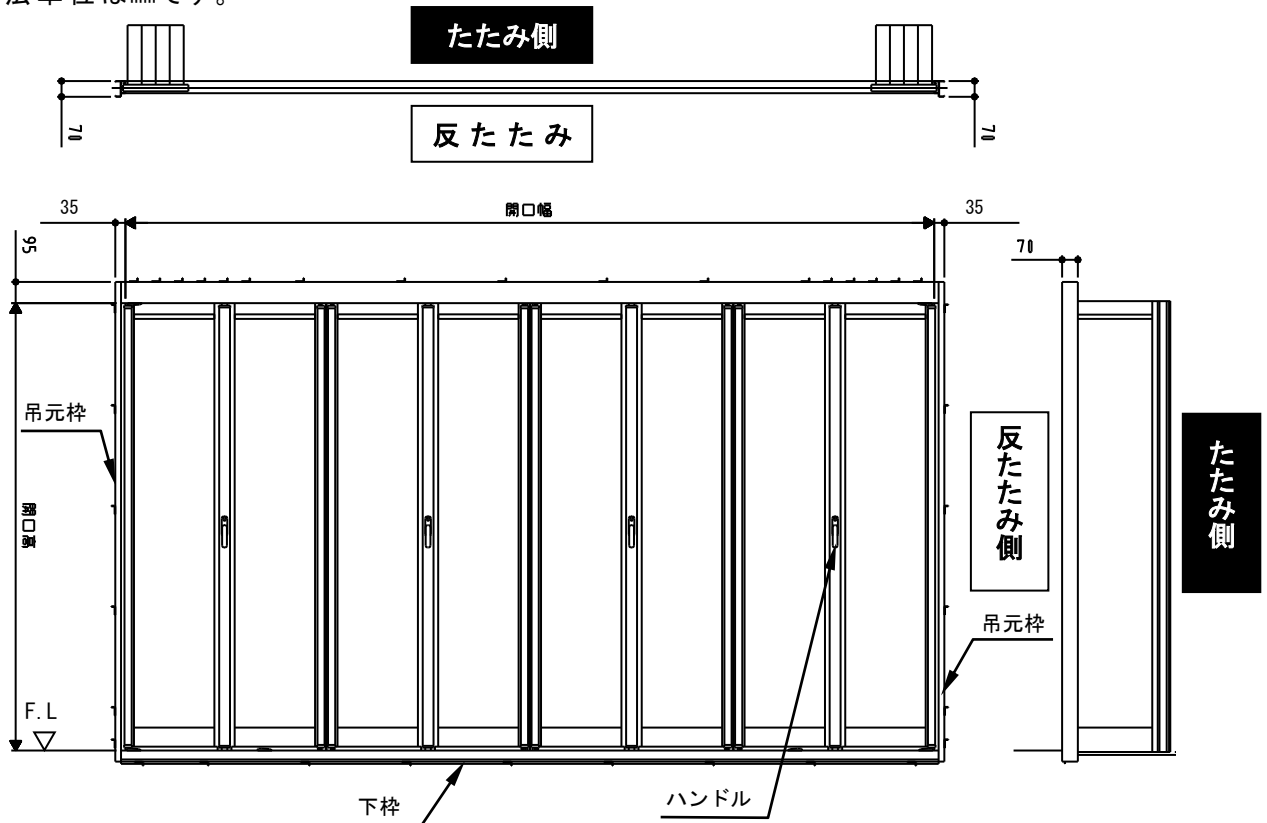
[片引き]

本図は、片引き:左勝手を示す。
※寸法単位はmmです。

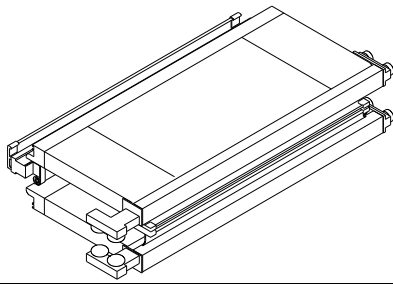


[引分け]

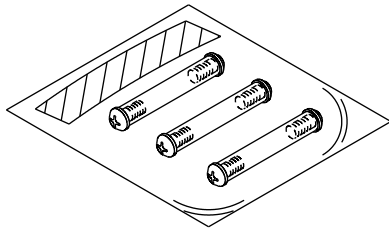
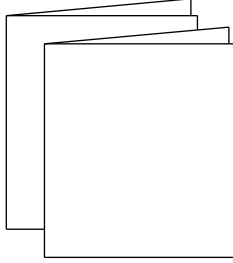
本図は、引分けの場合を示す。
※寸法単位はmmです。



□梱包内容

品名	形状	個数	備考
障子		必要数	

■同梱部品

連結金具セット		必要数	障子の連結框に貼付
(扉)取付説明書 取扱説明書		2種類	吊元の障子に同梱 (引分けの場合は、 右吊元になります。)

□取り付け手順

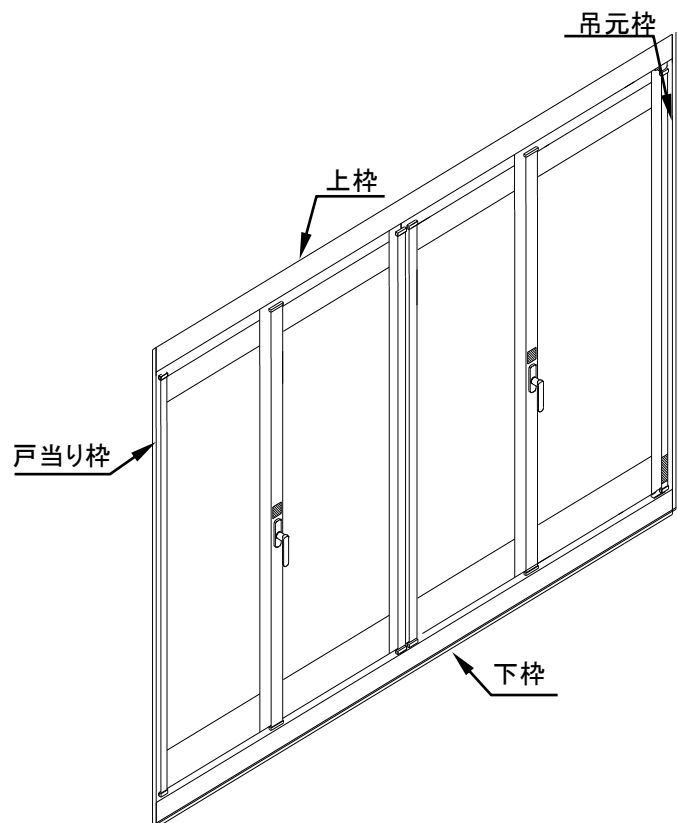
施工は、以下の手順でおこなってください。

1 障子の吊込み

- 障子の構成
- 上枠補助の取外し
- 障子の吊込み
- 上枠補助の取り付け
- 障子の連結

2 ラッチの調整

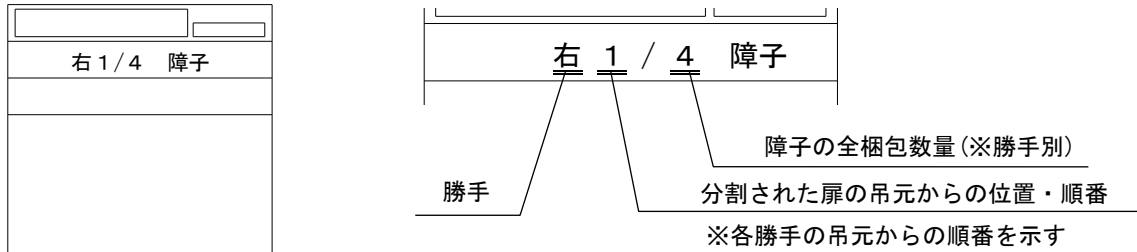
- ラッチの調整
- ラッチの解除
- 建付け調整
- 指はさみ防止ストッパー用
戸先補強板調整



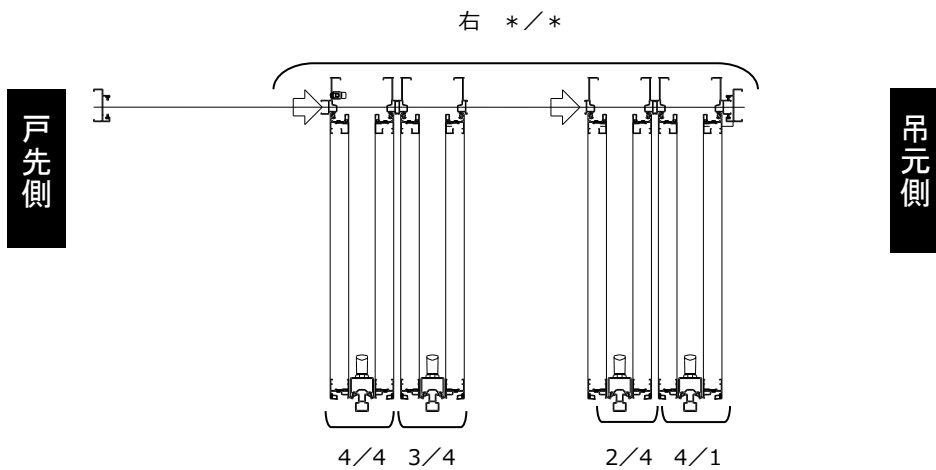
1 障子の吊込み

■障子の構成

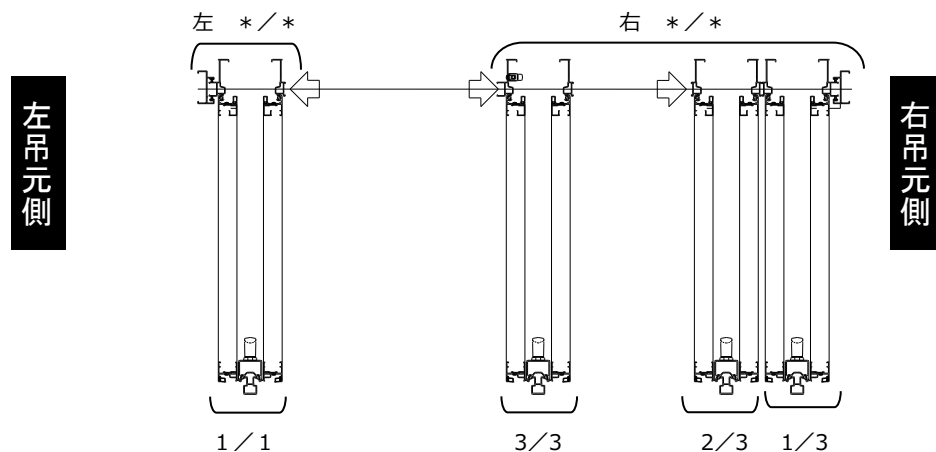
障子は、仕様により種類が異なります。梱包箱側面に貼り付けてある梱包表示ラベルにて、障子の配置を確認してください。
吊元枠に近い障子から吊り込む仕様になっています。



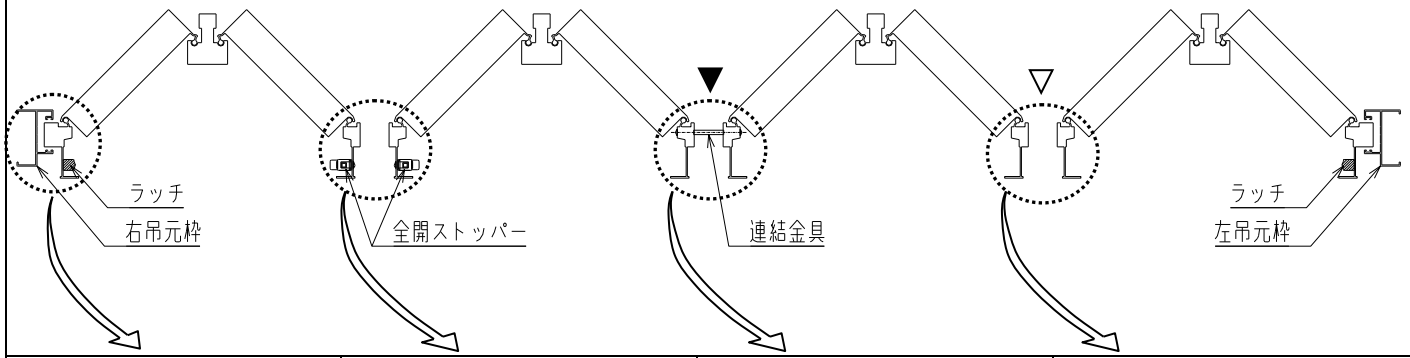
【片引き右勝手 2 連の場合の表記例】



【引分け 3 連 (1 + 2 連) の場合の表記例】



下記、図を参考に、障子の確認を行ってください
引分け、パネル8枚(2-4+2)



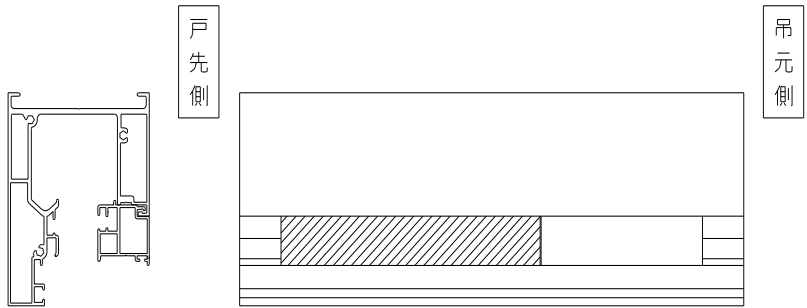
吊元部	戸先部	連結部	突合せ部
<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建付け調整部品が取り付けられている ・ 形材形状が、他の引手枠と違う ・ ラッチが取り付けられている 	<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全開ストッパーが取り付けられている ・ 左右どちらかにのみ気密材が取り付けられている 	<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連結の穴加工がある ・ 左右どちらかにのみ気密材が取り付けられている 	<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連結の穴加工が無い ・ 左右どちらかにのみ気密材が取り付けられている

■上枠補助の取外し

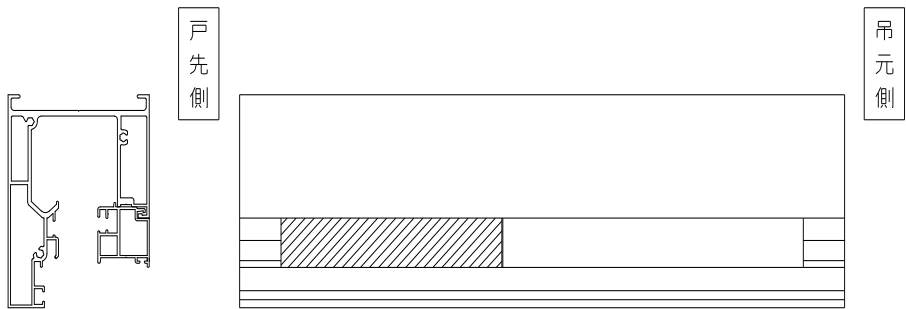
下図に示すハッチング部箇所の上枠補助を取外してください。

[片引きの場合] 本図は、片引き:右勝手の場合を示す。

$465 \leq W \leq 1500$

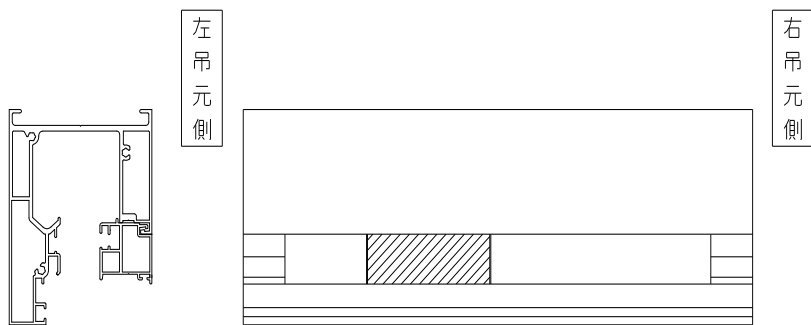


$1500 < W \leq 3600$

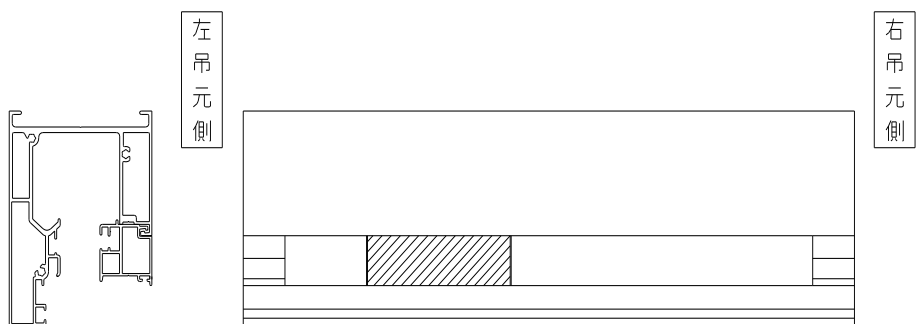


[引分けの場合] 本図は、引分けの場合を示す。

$927 \leq W \leq 2000$



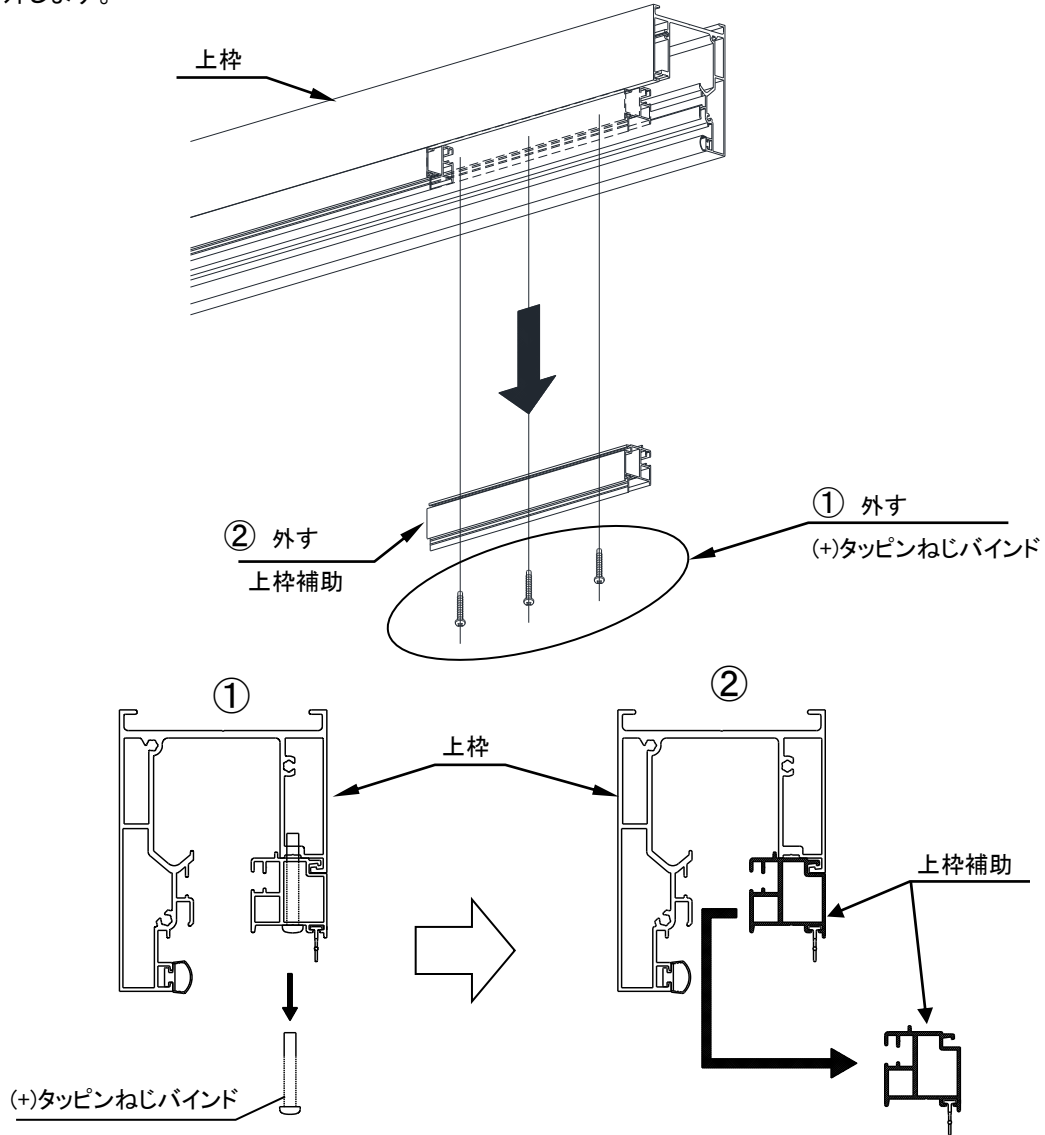
$2000 < W \leq 3600$



①上枠補助に取り付けている、(+)**タッピンねじバインド** 4×40 2本又は、3本を取外します。

注意 取外した(+)**タッピンねじバインド** 4×40は、再び使用するのので、紛失しないように注意してください。

②上枠補助を取外します。



■障子の吊込み

・障子の吊込み

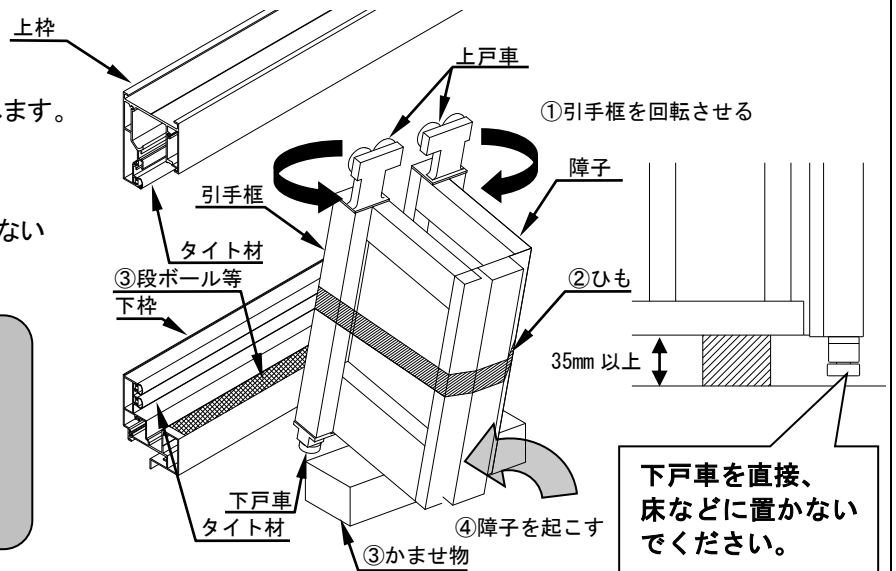
①引手框を横に回転させます。
(上戸車を右図の状態にします)

②障子が開かないように適当なひもで固定します。

③下戸車や障子の下部が傷つかないように障子の下かませ物を置いてください。また、下枠に段ボールなどを敷き、傷つかないようにしてください。

注意 下戸車が傷つくと開閉に支障をきたします。かませ物は、厚み35mm以上の物を使用してください。また、上枠や下枠のタイト材を傷つけないようにしてください。

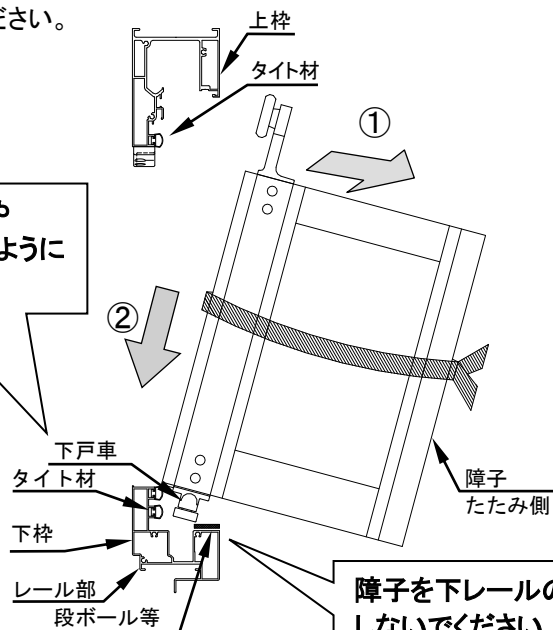
④障子を起こしてください。



・下戸車を下枠に入れる

- ①折りたたんだ障子を①の矢印の方に傾けてください。
- ②下戸車やレール部が傷つかないように少し持ち上げながら、下戸車を下枠レール部に入れます。

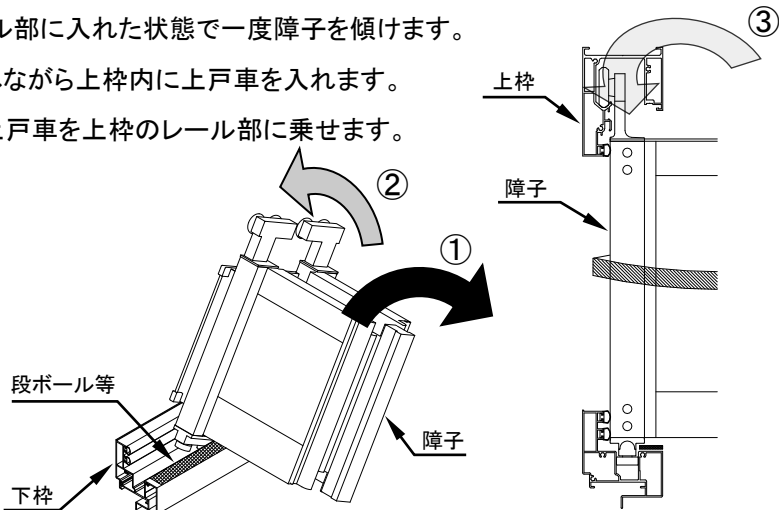
吊込み時に、下戸車や
タイト材が傷つかないように
注意してください。



障子を下レールの上で引きずったり
しないでください。
レールや障子に傷が付きます。

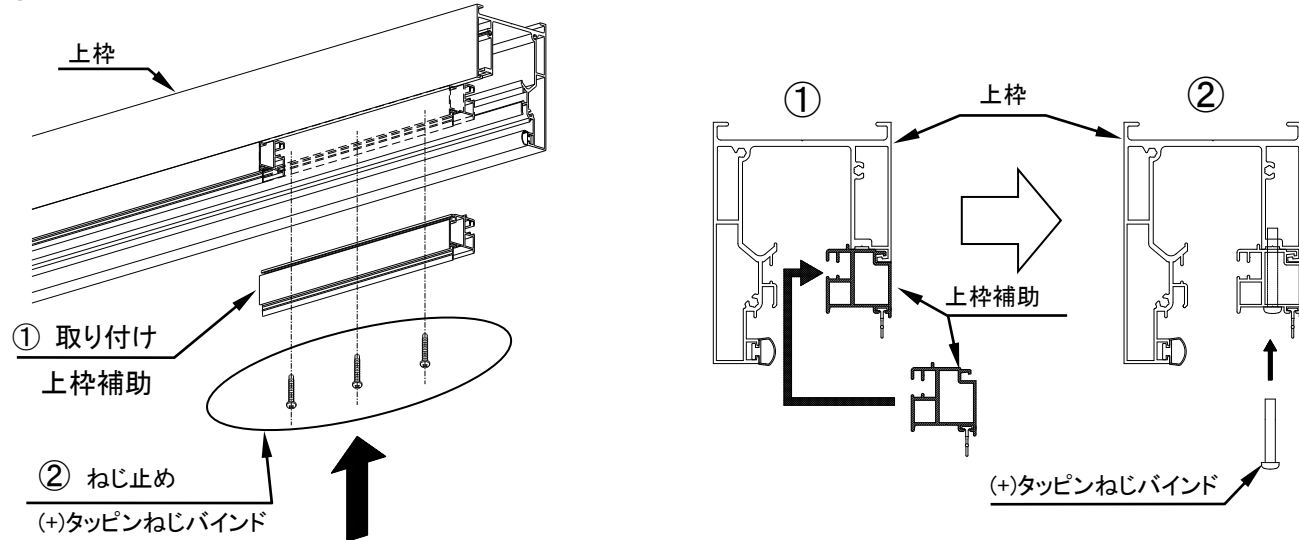
・上戸車を上枠に乗せる

- ①下戸車を下枠レール部に入れた状態で一度障子を傾けます。
- ②傾けた障子を起こしながら上枠内に上戸車を入れます。
- ③障子を持ち上げ、上戸車を上枠のレール部に乗せます。



■上枠補助の取り付け

- ①上枠補助を上枠に取り付けて、先ほど取外した(+)タッピンねじバインド 4×40にて、上枠補助を固定してください。

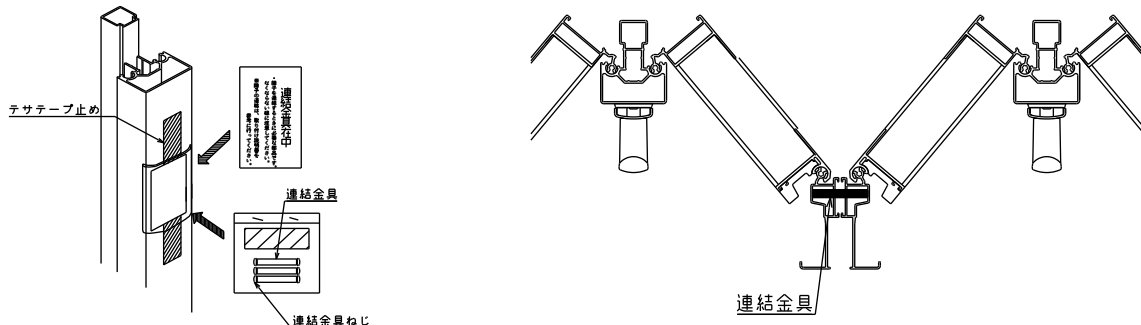


■障子の連結

連結金具・連結金具用ねじは、連結框にテープ止めされています。
貼付箇所の詳細は、梱包内容(P4)を参照してください。

・連結金具

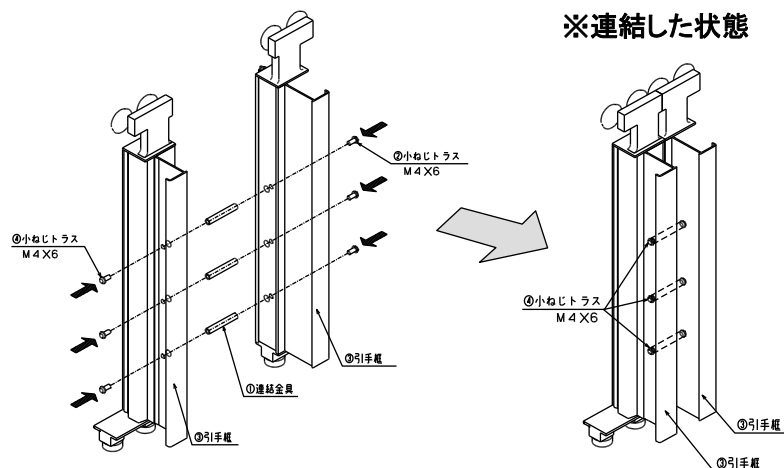
・突合わせ引手框に設けられた貫通穴を利用し、引手框を連結金具にて連結してください。



・連結方法

連結は、連結する障子同士を半開き状態に行ないます。

- ① 連結金具の両端に仮止めしてある (+)小ねじトラス M4×6 6本を取外し、引手框の貫通穴に連結金具を通します。
- ② 連結金具の片側を (+)小ねじトラス M4×6 にてねじ止めします。
- ③ 連結する突合わせ引手框を合わせます。
- ④ ②と反対側の連結金具を (+)小ねじトラス M4×6 にてねじ止めします。



2 ラッチの調整

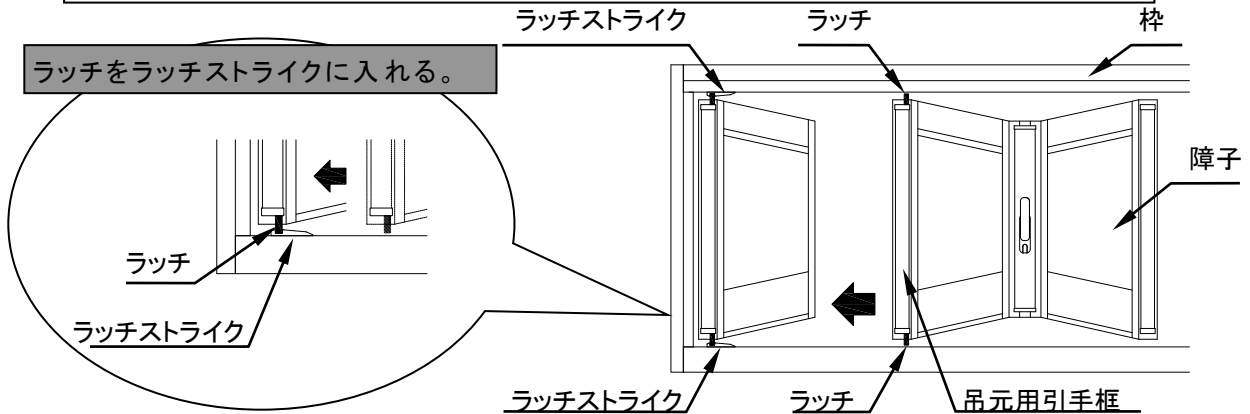
より快適な開閉のために、必ず下記のことを行なってください。

・吊元側の引手框は、常に固定になります。

障子を吊込んだ後、まず吊元用引手框の上・下に取り付けられたラッチを、枠に取り付けられているラッチストライク(ラッチ受け)に入れてください。

ラッチがラッチストライクに入りにくい場合、すべての障子を吊込み、障子を閉じれば自動的にラッチストライクに入ります。

ラッチをラッチストライクに入れる。

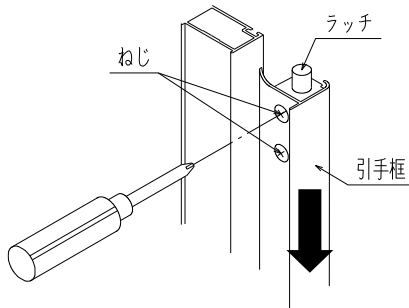


■ラッチの調整

吊元用引手框のラッチをラッチストライクに入れた後、ラッチのかかり具合を確認してください。

かかりの調整は、2本のねじをゆるめることで上下に調整することができます。

調整後は確実にねじを締付けてください。



・工場出荷時、上・下のラッチは一番かかりが深くなる状態で、固定してあります。

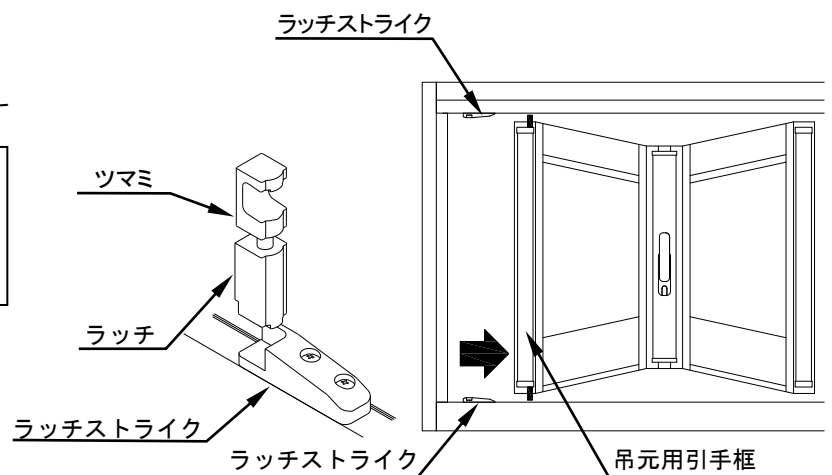
ラッチはかかりが浅くなる方向に4mm調整可能です。

■ラッチの解除

ラッチの解除方法

- ① ラッチのツマミ部分を上方に引きます。
- ② ①の状態、吊元用引手框を引きます

注意 確認などが終わりましたら、障子を全閉した状態でラッチがラッチストライクに入っていることを確認してください。

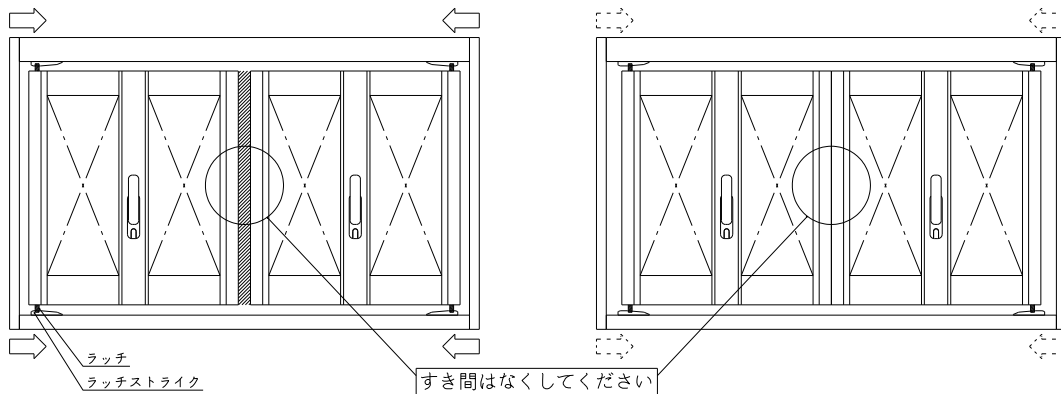


■建付け調整

・突合わせすき間をなくしてください。

障子を全閉し、引手框同士の突合わせ部にすき間がないか確認してください。

⚠ すき間は漏水の原因となります。

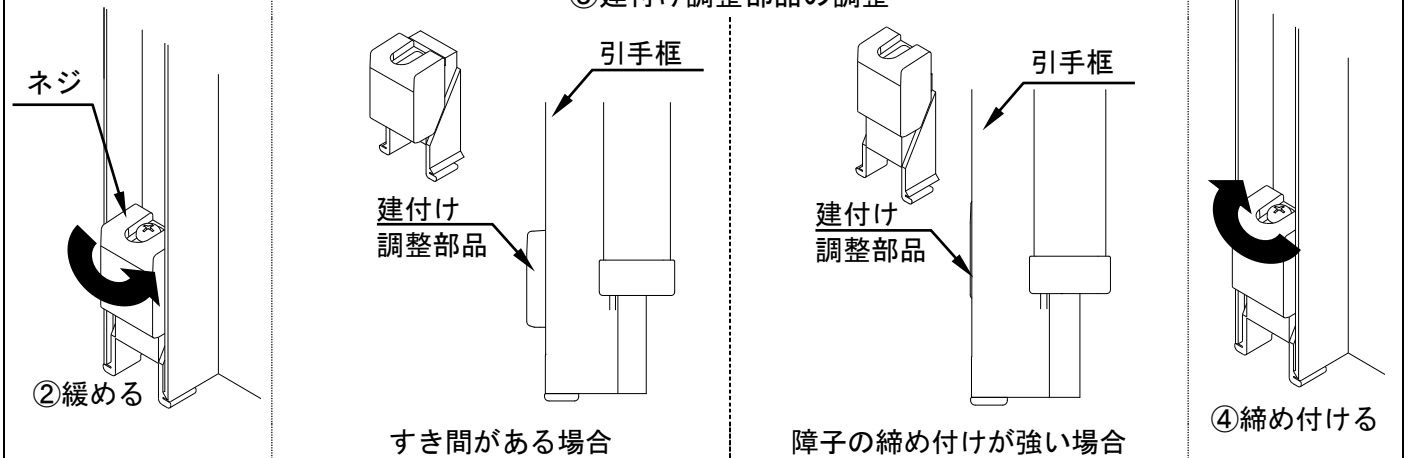


すき間がある場合、障子の締め付けが強い場合、ラッチを解除し、吊元引手框を縦枠より引き出し、吊元引手框の建付け調整部品を調整し、すき間をなくしてください。

建付け調整部品調整方法

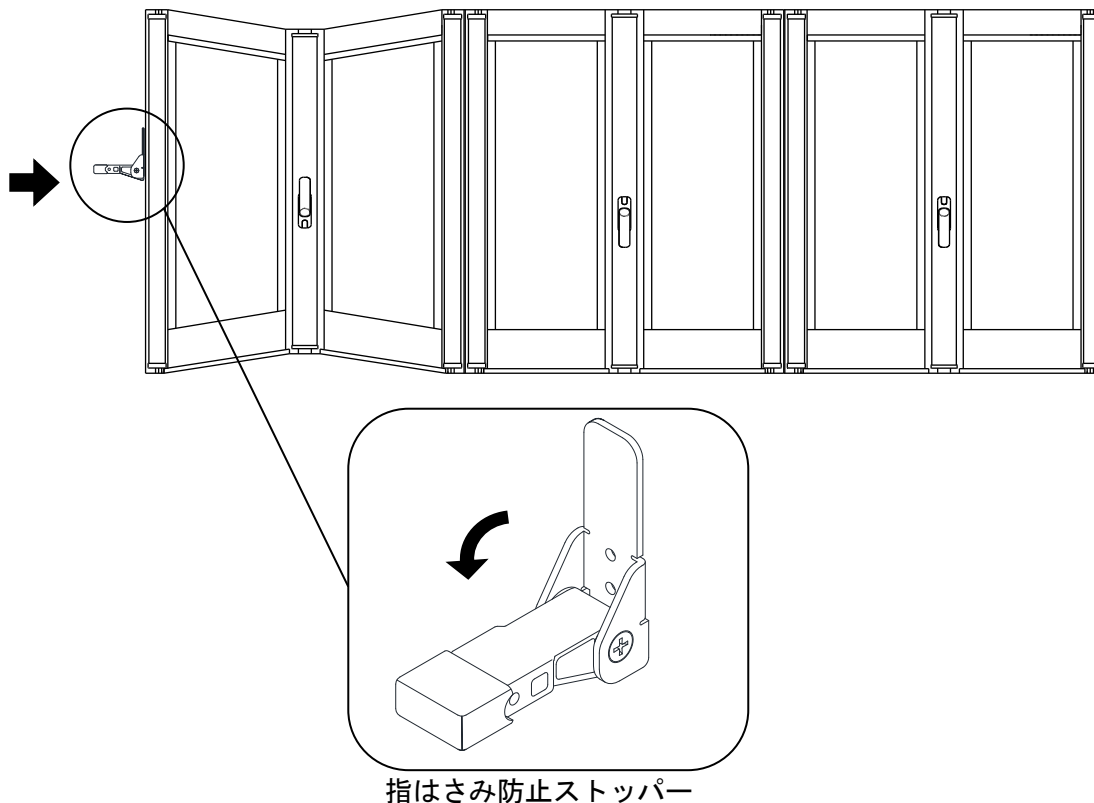
- ①吊元引手框のラッチを解除し、縦枠から、吊元引手框を引き出してください
(上記、ラッチ解除方法参照)
- ②吊元引手框の上下に取付けてある、建付け調整部品のネジを緩めてください。
- ③建付け調整部品を調整し、②で緩めたネジを締め付けてください。
- ④吊元引手框を縦枠に戻してください。

③建付け調整部品の調整



■指はさみ防止ストッパー用戸先補強板の調整

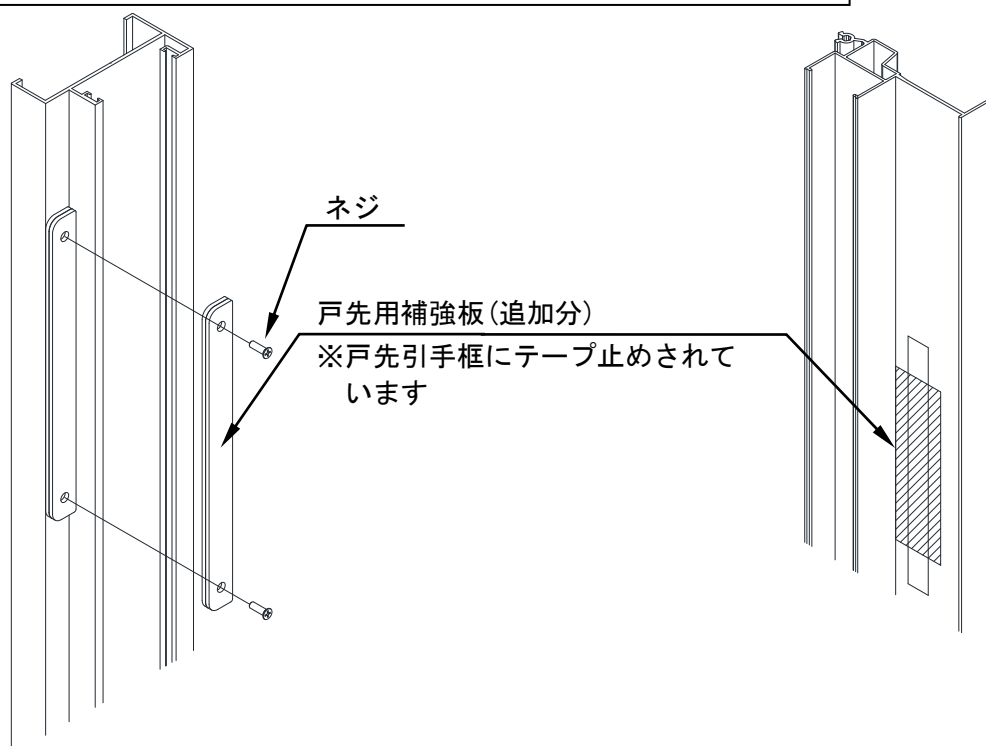
障子を全閉した状態から障子を開けた際に指はさみ防止ストッパーが倒れることを確認してください。



ストッパーが倒れない場合、下記の調整を行ってください。

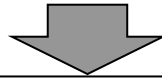
戸先補強板調整方法

- ①戸先補強板のネジを取り外してください。
- ②戸先補強板の枚数を調整し、①で取り外したネジを締め付けてください。
※戸先補強板は戸先引手框にテープ止めされています。
- ③障子を開閉し、ストッパーが倒れることを確認してください。

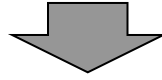


□施工後の点検

取り付け作業をしたねじ類の締め具合を確認してください。



本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。



障子の開閉テストをして、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・ 開閉がスムーズであること。
- ・ 障子が完全に折りたたむこと。
- ・ グレモンハンドルが180° 回転すること。
- ・ 突合わせ部にすき間がないこと。

MEMO



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100

電話 (0778)62-1122(代)

FAX (0778)62-2234